



## 先人たちが引き継いできた “松山の宝”を後世に ~市制施行130周年~



1889 (明治22) 年、全国で39番目の市として松山市が誕生。翌年、道後湯之町の初代町長となった伊佐庭如矢は、「100年後までも他所が真似できないものを作ってこそ、初めて物をいう」と、1894 (明治27) 年に道後温泉本館を、現在の三層楼に改築しました。市制施行130年を迎える今年、道後温泉本館は営業を続けながら保存修理工事に入ります。

### 主な内容

- 「道後REBORN」プロジェクト …… 2面
- “130でつむぐ松山” 受賞作品紹介 …… 3面
- 私たちのふるさと松山学 …… 4面
- 子規顕彰松山市小中高校生 俳句大会 …… 6・7面
- 市民ガイド …… 9～11面

発行：松山市役所  
編集：総合政策部シティプロモーション推進課  
毎月1日・15日発行  
☎948-6705 ☎934-2578  
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



### 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。昨年、道後温泉別館飛鳥乃湯泉が1周年を迎えるほか、一昨年にリニューアルした花園町通りに新たな賑わいが生まれるなど、市民の皆さんと一緒に取り組んできたことが着実に実を結んでいると実感しています。

7月豪雨災害では、直後からこれまで72億円の予算を組み、二次災害の防止や応急復旧などは概ね完了しました。多くのボランティアや義援金のご協力に、心から感謝しています。復旧には時間を要するものもあります。息の長い支援が必要ですが、これからも被災された皆さんの心に寄り添いながら、全力で対応していきます。

松山市は今年、明治22年12月15日に市制が施行されてから、130年の節目です。今日の松山市を築かれた先人のご尽力に敬意を表し、松山への愛着や誇りがさらに深まるよう、「温故知新」をテーマにさまざまな記念事業を行います。

今月からは、道後温泉本館の保存修理工事が始まります。完成までの約7年を、皆さんと手を携えて、常に前向きな気持ちで乗り越えていきたいと考えています。

今年も、一人でも多くの人に笑顔が広がる、幸せを実感できるまちの実現を目指し、挑戦し続けます。

松山市長 野志 克仁

全国で自然災害が多発する中、本市も豪雨により甚大な被害を受けました。本市議会は、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻すことができよう、行政と一丸となって取り組んでまいります。

さて、我が国の人口が減少に転じ、地方の過疎化や財政状況の悪化を背景に、国や自治体が地方創生に注力する中、地方は自らの責任と創意工夫により、魅力あるまちづくりを進めることが重要になっていきます。

このような中、本市議会の役割は今後ますます重大になるものと考えています。これからも市民の皆さまに寄り添った政策立案や提言を積極的に行うなど、市民福祉の向上や市政の発展に全力を尽くしてまいります。

本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますよう、心から祈念いたします。新年のごあいさつといたします。

松山市議会議長 清水 宣郎

保存してください。いつかまた お役に立ちます